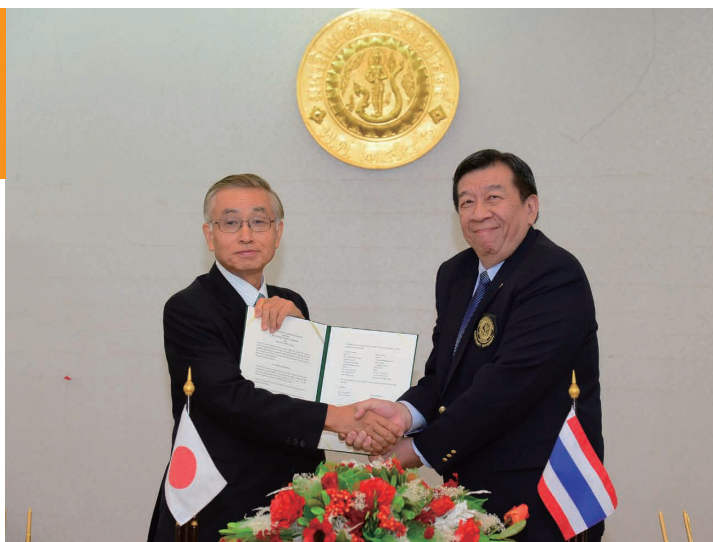


学報

2013年11月 Vol.675



岐阜大学長とカセサート大学長が学術交流協定書に調印
(10月2日)

男女共同参画推進室がサイエンス夢追い人育成プロジェクトを実施	1
岐阜大学長がタイ学術交流協定大学長と懇談	2
連携自治体と『地（知）の拠点整備事業（COC事業）実施協議会』を開催	3
応用生物科学部公開講座「中学生のための体験科学講座」開講	3
「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013岐阜」開催	4
「環境ポスター」の表彰式を実施	5
『地（知）の拠点整備事業（COC事業）採択校情報交換会』を開催	6
連合農学研究科環境講座「循環型社会形成にむけた農業・農村の役割」を開催	6
本学留学生が第17回フラッグアート展で「国際交流賞」受賞	7
チェンマイ大学長らが森学長を表敬訪問	8
学位授与	9
表彰受賞者	9
産学連携の実施状況	10
外国人研究者の受け入れ	10
諸会議	11
主要日誌	12
人事異動	《学内限定》13

男女共同参画推進室がサイエンス夢追い人育成プロジェクトを実施

男女共同参画推進室では、9月10日（火）、大学見学に訪れた岐阜県立長良高等学校1年生の約400名を対象に、「サイエンス夢追い人育成プロジェクト（女子大学院生による出前講義）」を実施した。当日は、学食での昼食、大学見学、大学説明に続き、講義が行われ、担当した女子大学院生は、研究内容を専門知識のない高校生にわかりやすく伝えるため、平易な言葉を選びながらも正確な知識が伝わるよう心掛けて講義を行った。

高校生からは「いつ頃から進路を決めたのか」、「幅広い研究内容からどうやって自分がやりたい研究を見つけていくのか」などの質問があり、進路選択を考える良い機会となった。

同プロジェクトは、女子大学院生が自分の研究内容や日々の研究生生活、今の進路を選択する上できっかけとなった出来事や感じてきたことなどについて小中高生を対象に講義を行い、科学への興味・関心を喚起することで、研究者の裾野の拡大をめざしている。女子大学院生にとっても自分自身の研究や社会的意義を見つめ直す良い機会となっている。



女子大学院生による講義の様子

岐阜大学長がタイ学术交流協定大学長と懇談

9月28日から10月3日にかけて、森学長、小見山理事（国際戦略担当）、鈴木国際戦略本部副本部長（連合農学研究科長）が、本学の学术交流協定大学であるタイのカセサート大学及びチュラロンコン大学を訪問した。

カセサート大学は、特に農学分野を中心として発展してきた総合大学であり、本学とは1999年の大学間学术交流協定締結時より、研究・教育両面において密接な関係を維持しており、現在では、本学修了生が教員・研究者として活躍している。

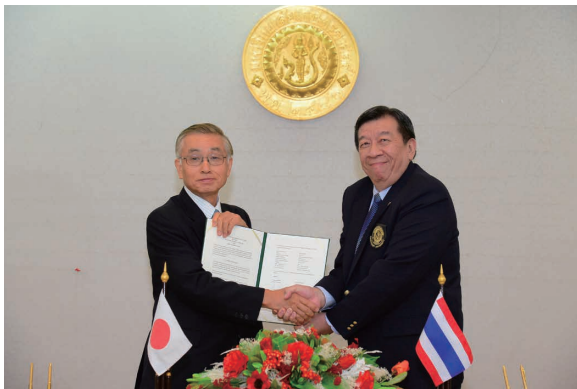
今回は、カセサート大学長のウッティチャイ・カピラカンチャナ氏と森学長による学术交流協定更新のための式典が行われた。これに引き続き、今年度から本学ホームページにて公開されている講義「グローバルレクチャー：The Global Lectures of Gifu University」を森学長より紹介し、実際にオンラインでつないで好評を博した。そして20名程の職員が岐阜大学一行と学生交流の方法や、学生受入れ環境について活発な議論を交わした。カセサート大学で訪問した森林学部では、学術担当副学部長ダムロン・ピパットワッタナクル氏らとの意見交換会が設けられ、小見山理事（国際戦略担当）より学术交流の歴史が説明され、今後の交流の展開について熱心に議論が行われた。

チュラロンコン大学は、バンコク市内の中心に位置するタイで最も長い歴史を持つ名門大学であり、本学とは数十年前にわたり研究者・学生交流や共同研究を通じた相互交流がある。チュラロンコン大学理学部では本学修了生が教員・研究者として活躍し、本学応用生物科学部及び連合農学研究科の間で学术交流協定が結ばれている。

一行がチュラロンコン大学長ピロム・カモンラタナクン氏を訪問した際には、今回の訪問への歓迎の言葉があり、森学長も感謝の意を表した。両学長は昨今の大学の取組みを紹介し合うなど、和やかな雰囲気の中、懇談がなされた。

また、理学部を訪問し、学部長スポット・ハノンブア氏ら10名程の職員から歓迎を受けた。同理学部についての説明の後、将来の交流関係の発展について、前向きな意見が交わされた。

今回の訪問を通じて、本学は東南アジアの主要国であるタイのカセサート大学及びチュラロンコン大学と交流を深め、農学系博士教育における南部アジア地域国際連携教育コンソーシアム（IC-GU12）を中心とした今後の協力関係の発展について改めて確認した。



学术交流協定書に調印
森学長（左）、カピラカンチャナカセサート大学長



カセサート大学副学長及び各学部代表者ら



チュラロンコン大学長との懇談会の様子

連携自治体と『地（知）の拠点整備事業（COC 事業）実施協議会』を開催

本学は、10月11日（金）、『地（知）の拠点整備事業（COC 事業）実施協議会』を開催した。

この協議会は、今年度採択された COC 事業を実施するにあたり、連携自治体（岐阜県、岐阜市、高山市、郡上市）との調整を円滑に行うために設置したもので、今回（第1回）の協議会には、市川篤丸岐阜県生活環境部次長をはじめ各自治体からの代表者6名と本学の COC 事業実行委員ら13名が出席した。

協議会では、はじめに本学の COC 事業担当者である小見山 章学術研究・情報・国際戦略担当理事から「COC 事業の実施には、これまで以上に各自治体との綿密な連携が不可欠であり、事業の企画・運営面にも自治体に参画願いたい」と挨拶があった。続いて、本学が地域と密着した取り組みとして継続して実施している『地域協学型の風土保全教育プログラム－ぎふ公民館大学－』についての事例紹介があり、これを参考に COC 事業における具体的な連携事項についての説明と質疑応答を行い、活発な意見交換が行われた。



挨拶する小見山理事



意見交換の様子

応用生物科学部公開講座「中学生のための体験科学講座」開講

我が国では、昨今、技術立国を目指しながら子供達の理科離れが懸念されていることから、応用生物科学部においては生物分野の体験型学習を通し、中学生に理科への関心を高めてもらうことを目的として、昨年度に引き続き10月12日（土）に、応用生物科学部公開講座「中学生のための体験科学講座」を開講した。

東海三県の中学校を中心に、生徒23名、保護者8名の総勢31名の参加があり、『微生物のチカラ「発酵」』（応用生命科学課程）、『川をのぞき水棲生物と戯れる～生物を識別する目を鍛える～』（生産環境科学課程）及び『牛の染色体を見てみよう』（共同獣医学科）の3つのうち希望した講座に分かれ、大学教員の指導の下、パン酵母、水棲生物、牛の染色体を顕微鏡で観察するなど、時折驚きの声をあげながら楽しく、有意義な大学での理科実験を体験した。

当講座修了にあたり、実行委員長から受講者一人ひとりに修了証書が授与された。

参加した中学生、保護者は、体験科学講座のほか、当日の昼食を学内の食堂でとるなど、岐阜大学生の生活の一部にも触れ、貴重な体験の場となった。



水棲生物を採取する受講生



実験の説明を受けている受講生

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013岐阜」開催

10月12日（土）、13日（日）の両日、公益財団法人日本対がん協会リレー・フォー・ライフ岐阜実行委員会主催の「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013岐阜」が岐阜大学医学部附属病院ホスピタルパークで開催された。同イベントは1985年「がんによって旅立たれた方を偲ぶとともに、現在がんと闘っている患者さんを皆で讃える」チャリティイベントとしてアメリカで始まったもので、本学での開催は3回目である。

12日の14時から翌13日の11時まで行われ、両日とも晴天に恵まれ、延べ800名を超す参加者が横断幕を掲げ夜通し歩き続けた。開会式の後の最初の一周はがん告知をうけたことのある方（サバイバー）だけで歩き、その後サバイバーを支える方（ケアギバー）、サポーター（ボランティア）、附属病院の医師、看護師、事務職員等も加わり、参加者全員でがんと闘う連帯感を育んだ。イベントでは高校生による合唱、音で遊ぶコーナーやサバイバートーク、飲食ブースやマッサージを受けられる場所もあり、参加者は自分のペースで歩いた。夕刻には想いやメッセージが込められたルミナリエバッグに光が灯り、幻想的な雰囲気にも包まれた。こうした活動が地域全体でがんと闘う社会作りの一助となることが期待される。



夕日を背に横断幕を持って歩く病院職員



晴天の下を歩く岩間病院長（右から3人目）



ルミナリエバッグで作られた「HOPE」の文字

「環境ポスター」の表彰式を実施

本学は、環境問題に対する意識の啓発に役立てることを目的に、「環境ポスター」のデザインを教育学部附属小・中学校の児童・生徒に募集した。多数の応募作品の中から厳選な審査の結果、金賞2作品、銀賞3作品を決定し、その表彰式を10月16日（水）に附属小・中学校で行った。

本活動は、「岐阜大学と十六銀行との環境保全における連携に関する覚書」に基づき実施された連携活動の一環である。このような環境ポスターの連携企画も、今回で3回目となっている。

表彰式には、十六銀行の佐々木総務部長、本学の西村環境対策室長、長谷川名誉教授、伊東附属小・中学校長、河合附属中学校副校長、遠山附属中学校教頭、馬淵附属中学校教諭、杉浦施設環境部長が出席し、金賞、銀賞を受賞した生徒一人ひとりに西村環境対策室長より表彰状が授与された。また、十六銀行の佐々木総務部長より副賞が手渡された。伊東附属小・中学校長からは、受賞した生徒に「今回の作品に込めた思いを、普段の活動の中でも心がけて生活し、また、その活動をまわりの人々にも広めてほしい」との言葉がかけられた。

受賞した作品は、ポスターとして岐阜大学構内や十六銀行各支店に掲示する予定。本活動を通して、本学は地球温暖化やリサイクルなど環境に対するさらなる意識向上を図るとともに、今後も十六銀行と連携して、より一層環境対策活動を進めていく。



受賞した生徒を囲んで記念撮影

金賞を受賞した作品



題名：地球の異変

作品に込めた思い：地球の様子が変わって、他の星も集まってくるくらい地球がおかしいことを表現しました。なので地球や月などに表情をつけて困っている顔や辛そうな顔を描きました。



題名：ごみをへらしてきれいな地球に

作品に込めた思い：リユース、リデュース、リサイクルの3つのRでゴミを減らしていったら、緑がたくさんあり、住みたくなるようなきれいな地球にしていきたい。

『地（知）の拠点整備事業（COC 事業）採択校情報交換会』を開催

本学は、10月16日（水）、『地（知）の拠点整備事業（COC 事業）採択校情報交換会』を開催した。

この情報交換会は、COC 事業に採択された各大学が事業を実施する際に、他大学の取組みや事業の特徴、課題などを情報交換し参考にすることで、今後の事業展開に相互に有益であることから、本学が国公私立を問わず近隣の大学に呼びかけ主催したもので、今回の情報交換会には、9 大学（中部大学、名古屋学院大学、金沢大学、金沢工業大学、滋賀県立大学、富山県立大学、信州大学、福井大学、岐阜大学（順不同））から COC 事業の実務者担当者33名が参加した。

会では、森秀樹学長の挨拶に引き続き、各大学からの事業紹介と質疑応答を行い、各大学の参加者からは実務者ならではの忌憚のない意見が寄せられ、予定時間を超過して活発な意見交換が行われた。最後に、こうした情報交換会の必要性についても議論され、今後もこの会を継続して行うことを確認し、会の幕を閉じた。



挨拶する森学長



活発な意見交換が行われた会の様子

連合農学研究科環境講座「循環型社会形成にむけた農業・農村の役割」を開催

大学院連合農学研究科（構成大学：岐阜大学、静岡大学）は、10月19日（土）に一般・高校生対象の環境講座を開催した。これは、「循環型社会形成にむけた農業・農村の役割」をテーマに講演することで、若い人材や環境に興味を持つ方へ農業の重要性と面白さを伝えたほか、日頃は一般の人に知られにくい岐阜大学大学院連合農学研究科の広報を兼ねて行われたものである。会場は、JR 岐阜駅前の進学塾校舎にて行い、約50名が参加した。

連合農学研究科長鈴木文昭教授から開催にあたっての挨拶があり、引き続き、「小水力発電による再生可能エネルギー利用」（大西健夫・岐阜大学准教授）、「茶園土壌からの地球温暖化ガス発生抑制をめざして」（鮫島玲子・静岡大学准教授）、「地産地消と集落営農により環境にも配慮した農業をめざして」（荒井 聡・岐阜大学教授）の3題の講演が行われた。

参加者からは講演毎に数多くの質問が出され、予定時間を大幅に超えて終了したが、その後も講師と談話する姿も見られ、再生可能エネルギーや農業への取り組みに対し関心が高いことが伺えた。



講演をする大西健夫准教授

本学留学生が第17回フラッグアート展で「国際交流賞」受賞

10月に開催された第17回フラッグアート展2013 in 岐阜において、本学の留学生グループが、国際交流部門で「国際交流賞」に輝いた。

今回受賞した学生らは、ベトナム、ブラジル、イラン、インドネシア、中国の異なる5か国の出身者による有志であり、普段は本学国際交流会館で生活を共にしている。今回のフラッグアートは1か月程かけて、皆で協力しながら完成させた。10月26日に開催された「公開審査～授賞式～懇談会」では、代表者のグエンウィンチャンさんが審査委員長の日比野克彦氏より賞状を授与され、喜びを噛みしめた。

このフラッグアート展は、岐阜市商店街振興組合連合会が中心となり、毎年10月に開催されており、平成23年度より設けられた「国際交流部門」には、本学の外国人留学生が初回より3年連続で参加している。今回は、平成23年度に続く2回目の受賞となった。

フラッグアート展の参加者は、幅1.8m長さ3mの布を使い、「街の景観を触発するフラッグアート」をテーマとした作品を制作し応募する。最終審査では、岐阜市出身のアーティストであり、審査委員長の日比野氏らが審査を行った。

本学学生の作品は、10月1日から10月31日まで、JR 岐阜駅北口前に掲げられた。



授賞式で喜びの表情を見せる学生



完成した作品とともに記念撮影

チェンマイ大学長らが森学長を表敬訪問

10月28日（月）、本学の大学間学術交流協定大学であるチェンマイ大学の Niwes Nantachit（ニウェス・ナンタチット）学長らが、森秀樹学長を表敬訪問した。

チェンマイ大学とは、これまで交換留学等の学生交流及び共同研究等で研究者交流を活発に行っており、最近では、この9月にチェンマイ大学医学部の学生4人が本学医学部・医学系研究科を訪れ、学生交流を行っている。

本学からは、鈴木文昭国際戦略副本部長及び本学のチェンマイ大学リエゾン（連絡調整者）である医学系研究科の柴田敏之教授が同席した。また、昼食会には、守富寛国際戦略副本部長も加わり、和やかな雰囲気の中で懇談が行われた。

昼食後、一行は、医学部附属病院を訪れ、柴田教授の案内で映画「ジェネラル・ルージュの凱旋」の撮影も行われたアナトリウム、医療ガス設備及び地下にある免震装置を見学した。その後、紀ノ定保臣医学系研究科教授による医療情報システムについての説明が行われ、一行は最先端の設備及びシステムに大変感銘を受けた様子であった。

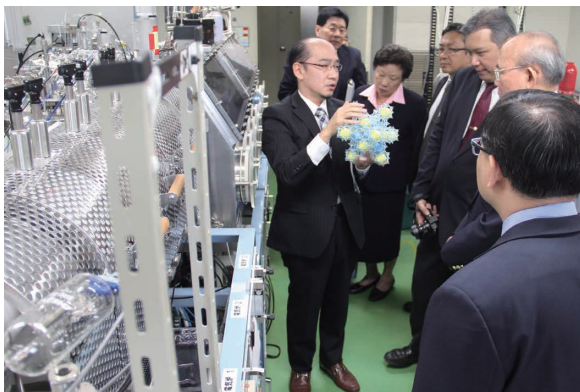
続いて、工学部へ移動し、六郷恵哲工学部長による本学工学部の紹介、野々村修一副工学部長による未来型太陽光システム研究センターの紹介を受けた後、同センターを見学された。一行は、センターの太陽光発電技術に関する実験設備に感心し、久米徹二工学部准教授による研究に関する説明にも熱心に耳を傾け質問していた。



ナンタチット学長（前列中央）、森学長（後列中央）



医療ガス設備見学の様子



太陽光発電技術実験設備見学の様子

学位授与

学位の種類	学位記番号	氏 名	学位授与年月日	学 位 論 文 名
博士（医学）	医博甲第929号	永 野 淳 二	H25. 10. 16	Effects of indoleamine 2,3-dioxygenase deficiency on high-fat diet-induced hepatic inflammation（高脂肪食誘導肝炎における indoleamine 2,3-dioxygenase 欠損の影響）
博士（医学）	医博甲第930号	岡 田 英 之	H25. 10. 16	Effect of Nematode Trichinella infection on glucose tolerance and status of macrophage in obese mice（肥満マウスにおける耐糖能とマクロファージに対する旋毛虫感染の与える影響）
博士（医学）	医博甲第931号	大 井 康 徳	H25. 10. 16	Cerebral Microembolism Following Coronary Angiography - A Prospective Comparative Study between Left Cardiac Catheterization and Multidetector Computed Tomography -（心カテーテル後の微小脳梗塞発症について - 左心カテーテルと冠動脈マルチスライスCTの前向き比較研究 -）
博士（医学）	医博甲第932号	花 本 貴 幸	H25. 10. 16	The role of small proliferative adipocytes in the development of obesity: Comparison between Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty (OLETF) rats and non-obese Long-Evans Tokushima Otsuka (LETO) rats（肥満の進展における小型増殖脂肪細胞の役割: OLETF ラットと LETO ラットの比較）
博士（医学）	医博乙第1472号	佐々木 義 之	H25. 10. 16	Determining Timing of Hepatectomy for colorectal cancer with distant metastasis According to Imaging-Based Tumor Shrinkage Ratio（画像評価に基づいた腫瘍縮小率による大腸癌肝転移切除時期の決定）

表彰受賞者

公益財団法人黒住医学研究振興財団 第49回小島三郎記念文化賞

受 賞 者：江崎 孝行 医学系研究科教授

功績概要：病原細菌の分類手法の開発とそれを利用した微生物の社会基盤の確立

受 賞 日：平成25年10月25日

産学連携の実施状況

○共同研究

(平成25年10月契約分)

部 局 名	研究代表者	企 業 等 名
医学系研究科	清 島 眞 理 子	(株) 医学生物学研究所
医学部附属病院	五 島 聡	バイエル薬品 (株)
工 学 部	王 志 剛	村田機械 (株)
〃	佐 藤 健	(株) メイホーエンジニアリング
〃	神 谷 浩 二	一般社団法人 ClearWaterProject
連合農学研究科	稲 垣 瑞 穂	(株) 明治

○受託研究

(平成25年10月契約分)

部 局 名	研究代表者	企 業 等 名
医学部附属病院	榎 本 由 貴 子	公益財団法人先端医療振興財団
工 学 部	松 居 正 樹	一般社団法人ファインセラミックスセンター
〃	佐々木 実	公益財団法人岐阜県研究開発財団
〃	山 縣 裕	(株) 東北テクノアーチ
応用生物科学部	岩 橋 均	北関工業 (株)
〃	嶋 津 光 鑑	(独) 農業・食品産業技術総合研究機構

外国人研究者の受け入れ

受入部局	氏 名 (国 名)	所属・職名	期 間	研 究 題 目
医 学 部	Ahmed Hamed Kassem Abdelaal (エジプト)	ソハーグ大学 アシスタント講師	25. 10. 21 ~ 26. 10. 20	脊椎変形の矯正に関する研究
工 学 部	MOHAMMAD AZAM (インド)	キングサワード大学 博士研究員	25. 10. 6 ~ 25. 10. 21	白金・ルテニウム異種金属多角錯 体に関する研究
〃	Tarcisio Freitas Savio (東ティモール)	東ティモール大学 電子工学科長	25. 10. 15 ~ 25. 11. 15	DSP システム開発に関する研究
応 用 生 物 科 学 部	Abou Asa Samah Salem Elsayed (エジプト)	カフルエルシェイク大学 アシスタント講師	25. 10. 1 ~ 26. 3. 31	犬および猫の腫瘍における CD146 の免疫組織化学的解析に関する研 究
〃	Mohamed Mohamed Wageid Kamra (エジプト)	カフルエルシェイク大学 講師	25. 10. 15 ~ 26. 4. 14	トウモロコシの品種改良に関する 研究
〃	Raghda Mohamed Abdellatif Mohamed Sakran (エジプト)	カフルエルシェイク大学 イネ研究センター 研究員	25. 10. 15 ~ 26. 10. 14	イネの品種改良に関する研究
〃	Ana Maria San Martin Rubio (スペイン)	アラバ商工会議所 トレーニング・スカラー	25. 10. 1 ~ 26. 3. 31	脂溶性抗酸化剤による脂質過酸化 二次反応の抑制機構に関する研究
〃	Wael Mohamed Ali Mohamed Goda (エジプト)	カフルエルシェイク大学 講師	25. 10. 1 ~ 26. 3. 31	鶏アミロイド症の病理発生に関す る研究

諸会議

◇ 第6回教養教育推進センター業務実施委員会
10月7日（月）

議 題

1. 平成26年度授業時間割編成（案）について
2. 平成26年度非常勤講師採用計画について

◇ 第413回役員会

10月10日（木）

議 題

1. 寄附研究部門の設置について

◇ 第6回部局長・部長会

10月10日（木）

（連絡事項のみ）

◇ 第6回大学教育委員会

10月15日（火）

議 題

1. 平成25年度後期の授業料免除に係る留年・修業年限超過者の取扱いについて
2. 「防災ガイド（学生携帯用）（仮称）」の作成について

◇ 第414回役員会

10月17日（木）

議 題

1. 特任教員雇用事前協議について
2. ポイント外教育職員の配置について

◇ 第415回役員会

10月17日（木）

議 題

1. 教育職員の任期を定める規程の一部改正について

◇ 第118回教育研究評議会

10月17日（木）

議 題

1. 地域協学センターの設置について
2. 学則等の一部改正について
3. 教育職員の任期を定める規程の一部改正について

◇ 第6回教養教育推進センター企画運営委員会
10月21日（月）

議 題

1. 平成26年度非常勤講師採用計画について
2. 複合領域科目「課題共同検討型インターンシップ（仮称）」について
3. 教養教育改革案について

◇ 第6回入学試験委員会

10月23日（水）

議 題

1. 高等学校学習指導要領の改定に伴う平成28年度応用生物科学部共同獣医学科の個別学力検査における外国語の出題科目（案）について

◇ 第416回役員会

10月24日（木）

議 題

1. 教育職員の人事（教育学部：教授2名，教育学研究科：教授1名）について
2. 特任教員雇用申請について

◇ 第7回大学教育委員会（持ち回り）

10月25日（金）

議 題

1. 平成25年度後期の授業料免除に係る留年・修業年限超過者（追加）の取扱いについて

◇ 第6回国際戦略本部会議

10月30日（水）

議 題

1. コロラド州立大学（アメリカ）との学術交流協定について
2. 平成25・26年度岐阜大学短期海外研修奨学金助成の募集について

◇ 第417回役員会

10月31日（木）

議 題

1. 寄附講座の設置について
2. 特任教員雇用事前協議について

主要日誌

月 日	行 事 名
10 / 1	工学研究科秋季入学式 連合農学研究科秋季入学式 連合獣医学研究科秋季入学式 連合創薬医療情報研究科秋季入学式
5	教育学研究科（修士課程）入学試験（～10月6日まで） 教育学研究科（専門職学位課程・教職大学院）入学試験
7	第6回教養教育推進センター業務実施委員会
9	看護学科・看護学専攻教授会議（医） 教授会・代議員会（工） 教授会（メディア）
10	第413回役員会 第6回部局長・部長会
11	研究科委員会・代議員会（連農） 地（知）の拠点整備事業（COC事業）実施協議会
12	応用生物科学部公開講座「中学生のための体験科学講座」
15	第6回大学教育委員会 研究科委員会（連創）
16	教授会・研究科委員会（教・地・応） 医学研究科・医学科教授会議（医） 「環境ポスター」表彰式 地（知）の拠点整備事業（COC事業）採択校情報交換会
17	第414回・第415回役員会 第118回教育研究評議会
18	代議委員会（連獣）
19	連合農学研究科環境講座「循環型社会形成にむけた農業・農村の役割」
21	第6回教養教育推進センター企画運営委員会
23	第6回入学試験委員会 教授会（流域・生命）
24	第416回役員会
25	第7回大学教育委員会
30	第6回国際戦略本部会議
31	第417回役員会 岐大祭（～11月3日まで）